

受験から逃げた現役時代。

僕は周りの先輩方のように「現役の時も勉強をして試験を受けたが落ちてしまい、浪人して再チャレンジする」といったような形とは全然違っていた。現役生の時早々に受験競争から尻尾を巻いて逃げ、楽な方向、楽な方向へと言い訳を続けていた。典型的な、しかもとんでもなく情けない落ちこぼれだった。

「これ以上裏切らないで」 胸を突刺す親の言葉。

そんな僕の受験生活、本当に立志塾の先生方には迷惑をかけた一年だったと思う。当然こういう状態の人間が勉強してすぐに点数が上がるわけがない。偏差値は45程度。地元の友人、親からも「本当に大丈夫かよ」「これ以上裏切らないで」そう言われた。こんな状態、今までの僕なら「大学行っても夢が叶うわけじゃない」「こっちの専門学校のほうが分野に特化している」とか言い訳を言って逃げていただろう。

ただ、塾を一度勝手にやめた僕を「また頑張ろうぜ」と言ってくれた高木先生、他の沢山の人間にもう一度背を向けるのは自分のプライドが許さなかった。だから今度は逃げなかった。

心の支えは立志の先輩成功者

そんな僕の勉強…最初、点数は上がらない。「何で上がらない!」と思ったこともあったが、他の人が感じるであろう、涙が出るような悔しさは湧かなかった。「あんな情けない生活をしてきたのだから当然だ」「まだ頑張りが足りないだけだ」高校時代を振り返って、僕は開き直って勉強することができた。また、何より立志塾の加藤先輩という成功の体現者を見ているので、先輩の真似をしてしっかり勉強すれば自分も成功できると信じて勉強をしようと思うことができた。成功者である先輩を身近に感じることができ、その成功方法を体感できる、これは立志塾の良さではないだろうか。今、僕はそう思う。先生たちもダメだった僕を「勉強しろよ」と言うだけでなく、徹底的にサポートしてくれた。大手の予備校ではここまでのしっかりしたやり取りなんてできないだろう。僕が立志塾を選んで良かった理由で一番に浮かぶのがそれだ。

問題集はバラバラに なるまでやった。

そんな期待にも応えようと、僕は「立志塾内で俺が一番勉強して、やり続ける」「周りはもちろん一緒に頑張っている人達だけど、自分はその中でも誰よりも頑張ろう」と決心し、「勉強に関しては俺が一番だ」という勉強エゴイスト精神を持った。

そこからは本当に勉強をした。単語帳、文法書、参考書がボロボロ、バラバラになるまで勉強した。徹底的に繰り返す勉強法、それが立志塾で教わったスタイルである。他の参考書に行く前にその一冊を完璧にする。僕はただそれを継続してやり続けた。

立志塾であった古文単語抜き打ちテスト、漢文抜き打ちテスト両方で立志塾1位を取った。1位をとっても毎日単語を勉強し続



加茂高校卒
明治大学文学部合格
2010年卒業

北田浩二郎君

頭が良い、悪いなんて関係ない。

「行動するか・しないか」

北田浩二郎(きただ・こうじろう)

「偏差値32」から早稲田・明治・立教等、数々の難関大学合格を果たした。高校時代は落ちこぼれで、荒れた生活だった。しかし卒業後、人生を変えるべく立志塾の門を再び叩いた。全てを賭けた彼の怒涛の学習で、明治大学A判定・早稲田大学B判定をとるまでに。そして志望校全てに「合格」。ドラマのようなストーリーを彼は地でやってみせた。多くの後輩が憧れる卒業生である。

けた。あれだけの量をこなした塾生は僕のものにはないだろう。

継続が成果として徐々に始まったのか、夏休みには模試でかなりいい成績をとることができた。立志塾で教えられたことは間違いないと自信を持ち、更に継続することができた。

そして受験本番、早稲田、明治、立教、獨協、もちろん、すべての試験で緊張、不安はあったが、自信も誰にも負けないくらいあった。そして結果がでた。早稲田、明治、立教、獨協、すべて合格した。あの時の喜びは今でも忘れていない。



立志教育デザイン研究所のメンバーとして立志塾の後輩指導もする北田くん。自らが体得した受験ノウハウを後進に伝えている。

「この問題がわからない」 という悩みは、幸せなこと。

受験生のおもむくにも色々な事情があるだろう。色々な辛さがあるだろう。それは僕もわかる、嫌と言うほどそれを感じてきたからだ。ただ、それと「諦める」というのは違うと思うのだ。みんなは「受験でき

る」「勉強できる」という、とても恵まれた環境にいるのだということをわかってほしい。立志塾という塾にも出会い、そこに通うことができている最高の状態なのだ。「勉強もできない」という悩みを持つ人達よりも「この問題がわからない」という悩みを持つみんながいかに幸せな状態であるのかを感じてほしい。頭が良い、悪いなんて関係ない。ただ「行動するか」「行動しないか」のそれだけである。今やっている勉強が、大学合格という喜びにつながる。立志歴代の諸先輩方のようにきれいに締めくくることができないが、受験時代に自分のモットーとした言葉を書いて終わりとしてほしい。

『努力をしたから結果が来るわけじゃない、結果がでたからその過程が努力と呼べるのだ!!今の自分に満足するな、その先の自分に手を伸ばせ!!』

2013/2/3 北田浩二郎



現在は大学で考古学を学び、机上の勉強だけでなく、日本各地での発掘作業など活動に大忙しの毎日。(写真:明治大学図書館にて)